

広報 EBETSU えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 2 特集 みんなが担い手 防災
- 8 江別市地域おこし協力隊
- 10 よつば保育園開園
- 12 秋のイベント
- 14 女性に対する暴力をなくす運動
- 28 11・12月の市民カレッジ

2016

11

vol.925

小さい
見つけた
秋

秋晴れの日、やよい保育園（弥生町18-2）の乳児クラスで、お散歩に出かけました。近くの緑地で見つけたのは、色とりどりの落ち葉。「真っ赤に染まってきれいだね」

特集

防災

みんなが担い手

1

日本各地で起こっている自然災害。江別市も例外ではなく、これまでに石狩川の氾濫や大雨による浸水被害などに悩まされてきました。

また、直下型地震は日本全国でいつ起きてもおかしくありません。

市では、災害に対応するため、行政と市民、関係機関が協力し合って防災活動に取り組んでいます。その中では、それぞれの立場から災害に立ち向かおうと、さまざまな人が活躍しています。

今回はその様子を紹介し、防災への向き合い方を考えます。



2



3



4

1～4 写真 _ 江別市総合防災訓練 (H28.10.8 江陽中学校) 1_ 住民と江陽中の生徒で協力し合いながら、救命講習を受けているところ。2_ 炊き出しで温めた非常食を手渡す生徒たち。3_ 住民、生徒、消防団などが協力して家屋から人を救助する様子。4_ 避難所運営本部で話し合う住民。

地域のつながりが力に

市内各地域の防災訓練は、その多くが自治会を中心に
行われています。今回は、積極的に防災に取り組む見晴
台自治会と野幌若葉自治会を紹介します。

自治会独自で取り組む

4千人以上の会員がいる見
晴台自治会は、自治会単体で
自主防災組織を結成し、防災
に取り組む自治会の一つです。
過去の防災訓練では、災害
時に避難所となる対雁小学校
の体育館に泊まり、炊き出し
や水汲みを行うなどさまざま

な内容を盛り込んできました。

また、避難に手助けが必要
な人を支援する制度（避難行動
要支援者避難支援制度*）も取
り入れ、同制度の個別計画の
作成や、日頃からの見守りに
も活用し、自治会の防災活動
のモデルにもなっています。

同自治会で防災の意識が高
まったきっかけは東日本大震



対雁小学校で行われた見晴台自治会避難所運営訓練。1泊2日の
日程で行われ、夜には炊き出しのお米や豚汁などが配られました。

*「避難行動要支援者避難支援制度」／障がいをお持ちの方
や単身でお住まいの高齢の方など、災害時自力での避難が不
安な方を支援する制度。制度へ事前登録申し込みをすると「要
支援者名簿」に登録され、自治会など支援してくれる団体に
事前配布されて日頃の見守りや災害時に活用されます。



左から、見晴台自治会
会長 山岸 勝明さん（67）
副会長 佐藤 一雄さん（75）
総務部副部長
仲西 正彰さん（65）

自ら考えて助け合う

「実際に歩くと学校まで遠
く感じる
ね。道路が
寸断されて
いたらどう
と、今後の課題を話します。」

災でした。「電話回線の混雑
を体験し、災害時の情報伝達
に問題があると、初動対応が
遅れると痛感しました。その
ため、災害時の役割分担をあ
らかじめ決めておく必要性を
感じました」と副会長の佐藤
一雄さんは振り返ります。

その後、「自主防災に関する
規程」を作り、災害時の役割
分担を明文化。防災会議を設
置し、日頃から話し合える環
境づくりを進めました。総務
部副部長の仲西正彰さんは「ま
ず、自分の身を守り、地域のつ
ながりで災害を乗り越えるこ
とが大切」と話す一方、山岸勝
明会長は「役員の高齢化など、
地域だけでは支えきれない面
もあるので、行政など各機関
と連携して防災力を高めたい」



1

1_野幌若葉自治会の
防災訓練で、野幌若
葉小まで歩いて避難。
リヤカーを活用し、
子どもたちと一緒に
避難する市民。2_野
幌若葉小体育館で、
参加者が協力して訓
練を行う様子。



2

しようか」避難訓練中、住民
同士が言葉を交わします。
今年9月、野幌若葉自治会
は初めて野幌若葉小学校と連
携して防災訓練を実施。子ど
もから高齢者まで約120人
が参加し、防災意識を高めた
。今回の訓練のきっかけ
は役員内から「実際に避難所
になる小学校を使いたい」と
いう声が上がったこと。生活
安全部長の松原元廣さんが、
学校や行政と何度も話し合
い、実施にこぎつきました。



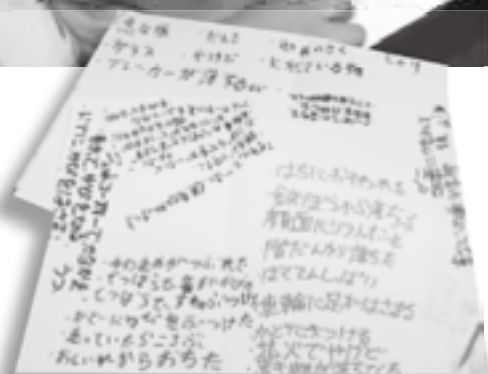
野幌若葉自治会
生活安全部長
松原 元廣さん（63）

が独自に防災に取り組んでい
ることを知り「自分たちに
合った防災体制作りをした
い」と感じました。
「災害対策を誰かに任せた
いのはみな同じです。でもい
ざというとき、それでは自分
の身は守れません」松原さん
は、今後自分たちの自治会に
合った防災マニュアル作りな
どに取り組む、災害時に自ら
考えて助け合える関係づくり
を進めたいと話します。



子どもたちも自ら考え 自分の身を守る

東日本大震災で、岩手県釜石市内の学校管理下にいた約3千人の小中学生が無事避難し、“釜石の奇跡”とよばれました。しかしそれは「自ら考え、身を守るために最善の策をとる」という防災教育のたまものだったといいます。江別でも、学校などを通して防災教育の考え方が少しずつ広がっています。



DIGの前に頭の準備体操。子どもたちは、「身近にある危険」について自由に書き込みました。

身近な危険を知り 備える

「授業中に大きな地震があったら何が危険かな。先生が近くにいなかったらどうする？」

市危機対策室の佐藤圭介さんからの問いに、子どもたちは自分の考えを発表します。「窓ガラスが割れて刺さったら痛いな」「逃げるとき階段で転ぶかも」「先生がいなかったら…どうしよう」。

今年7月、市の行う防災の出前講座として大麻小学校で「学校DIG（ディグ）」が行われました。DIGとは災害図上訓練の略で、大きな災害が起きた場合を想定し、参加者全員で対応を考える訓練のこと。同小の子どもたちは、校内の地図に身近に潜む危険などを書き込みながら、地震が起きたときに学校がどうなっているかを具体的に考え、自分たちの身を守る方法を考えました。

「私自身も小学生の娘がいるので、子どもの防災は身に迫って考えさせられます」と佐藤さん。子どもたちの記憶に残すため、写真や動画を使って災害時に起こりうる危



市危機対策室
佐藤 圭介さん (39)

険を分かりやすく説明しました。地震で大きな棚が倒れる様子や100キロ近いコピー機が暴れる様子、また、学校内で、地震に備えるため本棚類の固定などを行っている様子などを紹介すると、子どもたちは興味津々でした。

今回のDIGに中心的に携わった同小の中川徹先生は子どもたちと一緒に防災を考える大切さを改めて感じたといいます。「今回の授業を受けた後、子どもたち同士で『ここが危険かもしれないね』など、自分たちの身の周りに潜む危険を意識できるようになっていました。意識しなければ気付かない身近な危険の芽を普段から考えておくことで、いざというとき大きな違いになると思います」。



大学の“知”を地域へ

市内に4つの大学があり、知識が豊富にあるのも江別市の特徴。防災に役立つ知識を、専門的な立場から地域に広めている北翔大学の2人の先生を紹介します。

みんなで取り組む大切さ

「大人数が暮らす避難所では、間仕切りがあるとストレスがかなり軽減されます」北翔大学大学院の千里政文教授は、段ボールの間仕切りを防災訓練などを通して広めています。

この間仕切りは、5枚の段ボールをテープで帯状につな

げて四角に囲い、およそ2畳分のスペースを作るもの。子どもでも簡単に作れ、互い違いに設置すると、倍の数の個室を作ることができます。

この間仕切りは、市内の各防災訓練で実際に作成し、災害時に活用するため、市内に備蓄されています。また、防災訓練で寄せられた意見をもとに、組み立て方などの改良

を進めているほか、腰かけたり、床の冷たさをしのいだりできる段ボールのいすやベッドづくりにも取り組んでいます。千里先生はこれらの取り組みを通して“みんなで取り組む大切さ”を伝えたいと強調します。

「失敗もしながら、みんなで協力して作り上げることこそが、防災につながります」。

正しい知識で災害に備える

「活断層による地震を必要以上に怖がることはありません。しかし自分の住む土地や環境の正しい知識を持ち、いつ災



段ボール間仕切りの作り方を説明する千里先生（左端）

害が起きても対応できるように準備することが大切です」。

地層に詳しい北翔大学の横山光准教授は、防災訓練や市民向け講座などを通して市内の地質や活断層などを分かりやすく説明しています。

江別市は、河川の氾濫でできた低い土地と、活断層でつくられた小高い丘陵地が特徴で、自然災害では特に水害や直下型地震の危険を想定する必要があります。

「大学の研究成果は、専門的で難しかったり、広く公開されていなかったりして、一般の人が知る機会が少ないのが現状です。足元の大地がどのようにしてできたのか、今後皆さんに分かりやすく伝えていきたい」と話します。



上／防災訓練で子どもたちに江別の活断層について模型で説明する横山先生。

市内活断層を回るバスツアー（北翔大学の公開講座）は一日で満員になる人気ぶり。



北翔大学
教育文化学部教育学科
横山光 准教授 (43)

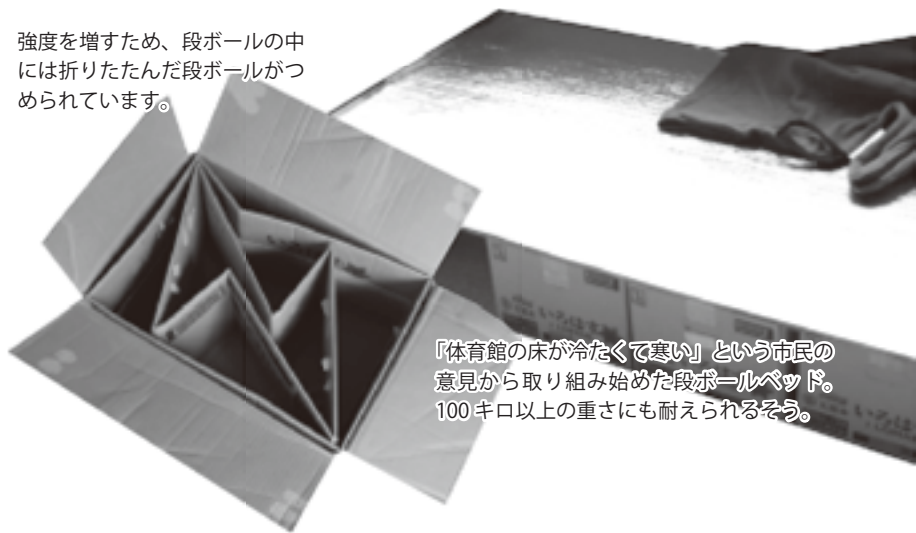


北翔大学大学院
生涯学習学研究科
千里政文 教授 (49)



横山先生と千里先生の元で学ぶ大学生も、地域の防災訓練に参加しています。写真は避難所を確認しているところ。

強度を増すため、段ボールの中には折りたたんだ段ボールが詰められています。



『体育館の床が冷たくて寒い』という市民の意見から取り組み始めた段ボールベッド。100キロ以上の重さにも耐えられるそう。



「避難所めぐりウォーキング」
野幌公民館前を歩く参加者

身近なことから はじめよう

防災活動には、多くの人々が活動しています。しかし、災害が起きたら、私たち一人一人が、助け、助けられる「防災の担い手」でもあります。自分と大切な人の命を守るために、日頃からできる防災を始めてみませんか。

散歩やあいさつも防災の一步

今年6月、市の出前講座で市内の避難所を回る「避難所めぐりウォーキング」が行われました。近くに住んでいても、避難所の場所を知らない人も多く、避難のイメージができたところでした。これは簡単にできる防災の一例です。散歩や通勤などで「冬には雪で道路が狭くなることを想像しながら歩く」「子どもの通学路を歩いて、身近に潜む危険を探しながら歩く」なども防災につながります。

他にも非常食を食べてみる、家族で防災について話し合うなど、生活の中で取り組めることがたくさんあります。実は「あいさつ」も防災の一つで、阪神・淡路大震災

では、近所の人にあいさつを欠かさなかったことで、地域に存在を知られていたため、家が潰れても助けられたという事例もあったそうです。地域とのつながりを大切にする、災害への意識を高めるなど、まず身近にできることから防災を始めよう。

市は、避難場所などの防

災情報をさまざまな手段で提供しています（左ページ）。

ぜひご活用ください。

企画・編集／
危機対策室
広報広聴課

すぐに始められる災害対策

●非常持ち出し品の準備を！

災害時には、荷物をまとめる時間があるとは限りません。懐中電灯、笛などの非常持ち出し品をかばんなどにまとめておきましょう。また、割れたガラスなどから足を守るための靴を枕元に置くなどの備えが重要です。



●備蓄のローリングストック

日常的な食料（普段から食べているもの）を備蓄しておき、古いものから順に消費し、使った分だけ買い足す方法です。家族1人につき3日分（9食）以上の備蓄が目安。



防災あんしんマップの活用を

大麻・野幌・江別地区の防災あんしんマップを配布しています。地震の揺れやすさや、洪水時の避難先、非常持ち出し品や避難行動要支援者避難支援制度など防災に関わる情報を掲載しています。

市役所や市ホームページから入手できます。



市で進める 防災備蓄

江別第二小の
防災備蓄庫▶

江別市では、毛布1万枚、食料1万食を目標に防災備蓄を進めています。これは、阪神・淡路大震災時の避難率が約9%だったことから、江別市の人口約11万9,000人を掛けて算出したものです。

市内小中学校の耐震化工事に伴い、小中学校にも防災備蓄庫の整備を進めています。アルファ化米や備蓄用パンといった非常食に加え、毛布や間仕切り用段ボール、発電機やストーブといった非常用品が蓄えられます。

現在、緊急時の食料・毛布といった非常用品は江別市文書保存センター（中央町）に備蓄されており、江別第二小、江別太小、江別第一中、江別第一小にも備蓄庫が順次整備され、分散配置が進められています。





市の提供する防災情報

防災に関する問い合わせは 危機対策室 ☎ 381-1407

近くの避難所を確認！

避難所ガイド（今月号の広報えべつに同封）

市内全域の避難所ガイドマップ。一次的な避難場所と避難生活を送る避難所を区別し、避難場所は下記のとおり災害の種類ごとに指定されました。お近くの避難所などを確認しましょう。

・指定緊急避難場所

地震などの災害時、一時的に危険から逃れるための避難場所。洪水、地震、土砂災害など災害の種類ごとに指定緊急避難場所を指定しています。

・指定避難所

災害時に、一定期間避難生活を送る必要が生じたときに開設される、小中学校などの施設。

河川水位について

（今月号の広報えべつに同封）

市内河川の危険水位や、洪水時の避難基準、洪水時の避難場所のご案内。洪水時の避難所は、地震などの災害と異なるのでご注意ください。

ご注意ください！

避難の前にしっかり確認を！

避難所の開設は、災害の規模や被害範囲によって判断されるため、全ての避難所が一斉に開設されるわけではありません。避難前にテレビや市の防災情報提供サービスなどで開設されている避難所を確認しましょう。

いろいろな手段で防災情報を収集

防災情報提供サービス

事前に登録することで、市から避難情報や緊急のお知らせなどの情報を E メール・電話・ファクスで受け取れます。

▶ 受信先を携帯電話・パソコンなどのメールにする場合

① 右下の QR コードを読み込んだ先、または bousai.ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp に空メールを送信。

② 仮登録通知のメールから、指示に従い登録。

▶ 受信先を電話やファクスにする場合

申込書に記入してファクスまたは郵送で危機対策室（FAX 381-1070）まで提出。申込書は



市役所案内窓口または、市ホームページから入手できます。

市 HP・フェイスブック・ツイッター

市ホームページや SNS で防災情報を発信しています。

- 市ホームページの防災情報「江別市 防災」で検索。
- フェイスブックは「江別市防災情報 フェイスブック」で検索。
- ツイッターは「@ebetsu_bousai」で検索。

24 時間自動音声防災情報テレホンサービス

☎ 050-5533-8204

防災出前講座をご利用ください

市職員が直接出向き、分かりやすくお話しする出前講座を行っています。

- 内容
- 災害図上訓練（DIG）
 - 避難行動要支援者避難支援制度について
 - 避難所運営ゲーム（HUG*）など

申込 危機対策室
☎ 381-1407

*HUG とは…避難所の見取り図を使いながら、避難所の課題を施設内でどのように対処していくか各グループで議論しながら行う訓練のこと。「毛布と食料の保管場所」や「傷病者用の部屋」、「トイレの運用方法」など、さまざまな避難所での課題が示されます。



高砂町自治会と市民会館の連携で行った HUG の様子

江別市地域おこし 協力隊です！



地域おこし協力隊は、地域
外の人材を地域振興の新たな担い
手として受け入れ、一定の期間、地域
協力活動をしながら、定住・定着を図る取
り組みです。

江別市では、4名の協力隊員（非常勤特別職）
が7月から各自の経験や特技を生かして、大
麻地区の住み替え相談やSNSなどを活用し
た情報発信、観光・農業への支援等进行
い、新たな視点で市の活性化に向けて
活動しています。

〔詳細〕企画課 ☎ 381-1015

シティプロモート推進員

さが えみ こ
佐賀 絵実子さん（28歳）

シティプロモート推進員とは

江別市や大麻地区に関する魅
力や情報を、インターネットや
SNS、チラシなどの媒体を使って
効果的に情報発信し、住み替え
相談支援員と連携して市内外の方からの住み替えを支
援します。

また、地域のまちづくり活動やイベントなどに参加
し、地域活性化の支援を行います。

「私はこんな人！」

江別には何度か観光で訪れ、おいしい野菜やパン、
ラーメン…挙げたらきりがありませんが、魅力のあるも
のがたくさんあることを知り、江別が大好きになりました。
偶然見た情報誌に協力隊の募集があり、応募し
てみたのがきっかけで江別にやってきました。

大麻・文京台地区や江別のより良い情報を自分自身
も楽しみながら、どんどん発信していきたいと思いま
すので、どうぞよろしくお願いします！



住み替え相談支援員

はたけやま まり
畠山 真理さん（31歳）

住み替え相談支援員とは

市内外の方からの住まいに
関する相談に対応し、必要に
応じ不動産事業者などと連絡
調整を行いながら、シティプ
ロモート推進員と連携して住
み替えを支援します。

また、地域のまちづくり活動やイベントなどに参加
し、地域活性化の支援を行います。

「私はこんな人！」

大麻出身で、娘が生まれたことをきっかけに緑豊か
な大麻に戻りたい気持ちが強くなりました。同時に、
大麻・文京台地区をもっといろいろな方に知って欲し
い、そしてもっと活性化させたいと思い、当時娘はま
だ3か月でしたが、思い切って応募しました。

生まれ育った大麻の地域活動に携わることができ、
本当に嬉しいです。より良い地域になるよう頑張ります
ので、どうぞよろしくお願いします！



4 人のこれまでの活動

- 「ウォーキングマップ」の制作や、えべつやきもの市、農業まつりなどへの参加
- 「瑞穂のしずくツアー」や「小学生の農業体験バスツアー」などの運営
- 大麻交流農園や大麻・文京台地区の市民夏祭りへの参加
- 地元メディア（地域のブログサイト）にリポーターとして参加

江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会加工部会の研修に参加



地域のお祭りに参加



自ら制作したウォーキングマップを紹介



収穫体験のお手伝い



研修で江別をPRする「れんがパーカー」を発表した4名

フェイスブックでも活動中！



フェイスブックで日々の活動を紹介しています。

<https://www.facebook.com/ebetsu.chiikiokoshi/>

江別市地域おこし協力隊

検索



6 次産業化支援員

かわさき ともよ
川崎 知世さん(25歳)

6 次産業化支援員とは

来年4月に美原にできる都市と農村の交流センターのオープンに向けて、農畜産物加工品の市場調査や施設のテストキッチン内に整備される大型備品の使用方法などを習得します。

また、オープン後は施設内でテストキッチンの操作指導、農業者への6次産業化(※)支援、施設の運営補助、グリーンツーリズム関連情報の発信などを行います。

※農産物などの生産(1次産業)に加え、それを原材料に食品加工(2次産業)・流通販売(3次産業)まで展開すること。

「私はこんな人！」

大好きな地元の江別に貢献できて、食と農に関係する仕事がしたいと思い、今回、協力隊に応募しました。

任期が3年と限られているので、あっという間ですが、任期中に何か6次産業化に関わる良い仕組みを作り、協力隊として江別を盛り上げられたらと思っています。皆さんどうぞよろしくお願いします！



地域振興推進員

ごぼう た しょうへい
御坊田 祥平さん(27歳)

地域振興推進員とは

市や関係団体の事業、地域のイベントなどに参加し、観光業を支援します。

また、新たな地域資源の発掘や地域資源を活用した企画、実施、PR活動などを行います。

「私はこんな人！」

18歳の頃まで江別に住んでいて、良いところだと思っていました。その後就職で札幌へ移りましたが、何らかの形で江別に戻りたいと考えていたところ、今回の協力隊の募集を知り、思い切って応募しました。

今後も各イベントにどんどん参加して江別のことを知ってもらい、盛り上げていきたいと思っています。

協力隊が来たことによって少しでも明るい元気なまちになったと言ってもらえるように頑張りたいと思います！



11月1日から

「白樺保育園」と「若草乳児保育園」の統合園

よつば保育園が開園

子育て支援センターが初めて併設！

平成29年4月から定員が140名に！

※平成28年度中は定員120名

よつば保育園を写真で紹介

木のぬくもりいっぱいの内装



広くて明るいホール！



乳児保育や延長保育のおへやもあるよ



絵本もたくさん、いっぱいようね



子育て支援センター「ぽろっこ」

たのしいおもちゃがいっぱい！



家族みんなであそべるよ！



充実した保育サービス

よつば保育園は、生後43日目の乳幼児から、就学前児童の一貫保育、延長保育、障がい児保育、一時預かり（平成29年4月より実施）、食品アレルギー対応、そして子育て支援センターが併設され、さまざまな保育サービスが受けられるなど、幅広いニーズに対応した保育園です。

【詳細】子ども育成課
☎ 381・1030

所在地…野幌住吉町37番地の7
開園時間…7時15分～18時15分
（延長保育19時15分まで）
連絡先…☎ 389・3700



「ぽろっこ」で遊ぼう

同園には育児相談や保護者の交流の場として利用できる子育て支援センター「ぽろっこ」が併設され、保育園に通っていない地域の親子も利用できます。

「ぽろっこひろば」の開放時間
月～金 9:30～12:00
13:30～16:00
【詳細】子育て支援センター
ぽろっこ ☎ 389-3006

第32回 原始林クロスカントリー スキー大会

原始林を駆け抜ける風になろう！

H29/ **1/29 (日)**
10 時～ (開会式 9 時 30 分)

会場：野幌総合運動公園硬式野球場 (西野幌 481)

大会種目

部門	距離	年齢・対象
クロスカントリー 【一般男子】	10km	高校生～39歳
		40歳～49歳
		50歳～59歳
		60歳以上
	5km	中学生～39歳
		40歳～49歳
クロスカントリー 【一般女性】	10km	高校生～49歳
		50歳以上
	5km	中学生～39歳
		40歳以上
クロスカントリー 【小学男子・女子】	3km	小学生
歩くスキー 【男子・女子】	3km・5km	年齢制限なし

原始林隣接コースで行われる、クロスカントリースキー大会に参加してみませんか？レース後のお楽しみ抽選会もより充実させ、皆さんをお待ちしています。

申込方法…4体育施設（市民体育館・大麻体育館・東野幌体育館・青年センター）に備え付けの申込用紙（振込取扱票）に必要事項を記入の上、参加料を添えて11月1日（火）～12月14日（水）に、ゆうちょ銀行・郵便局で振り込むか、4体育施設へ直接申し込み（郵便振込12月14日（水）消印有効）。

参加料…クロスカントリーの部／小・中学生1500円、高校生以上2500円。歩くスキーの部／中学生以下800円、高校生以上1800円。

●事前予約でスキーのレンタルが可能（無料・数量限定）
●荒天、倒木の危険、視界不良などのため、やむを得ず中止となる場合もあります。江別市スポーツ振興財団ホームページ、または電話でご確認ください。

〔詳細〕江別市スポーツ振興財団第32回原始林クロスカントリースキー大会事務局（市民体育館内） ☎ 384・5001

共に支え合いながら、いつまでも健康に過ごそう

「生涯活躍のまち構想」シンポジウム

11/12 (土) 14 時 30 分～16 時

会場：江別市民会館 37 号室 (定員 100 名)

入場無料、事前申し込み不要、直接会場へ



年齢、性別、障がいの有無に関わらず、共に支え合いながら生活を送ることができる「江別版生涯活躍のまち」を目指して、共に考え、取り組んでいくためのシンポジウムを開催します。

「生涯活躍のまち」構想とは…

中高年齢者が、多世代の地域住民と交流しながら健康で活発な生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指す考え方のこと。

内容▶Ⅰ基調講演「『生涯活躍のまち』について」

講師：横田正明氏（まち・ひと・しごと創生本部事務局主査）

Ⅱパネルディスカッション

「江別市における『生涯活躍のまち』構想について」

〔詳細〕政策推進課 ☎ 381-1033

第 42 回

まちかどコンサート

12/3 (土)

13 時 30 分開場 14 時開演

会場：えぼあホール 入場無料

（えぼあホール、各公民館、市民会館で入場整理券を配布します）

市内で音楽活動をしている方々のコンサート。多彩なジャンルの音楽をお楽しみください！

出演 邦楽アンサンブル月の会（和楽器）、中井隆雄・大久保のりゆき
法幸・佐藤圭一（フォークローレ）、大麻バーネアンサンブル（弦楽合奏）、男性コーラス ジーサウンズ（男声アンサンブル）、琴彩音
しおん会（邦楽）、サン・ハーモニー／オカリナクオレ（ハーモニカ
& オカリナ）、音楽工房 ToTo とまと（マリンバとエレクトーン）、江
別ジュニアオーケストラ（管弦楽アンサンブル）

〔詳細〕まちかどコンサート実行委員会事務局（生涯学習課内）

☎ 381-1060

秋のイベント

農畜産物加工品フェア

農家のかあさん土曜市

農家のお母さんたちが、安全安心にこだわって手作りました。江別産の農畜産物加工品を販売します。

〔詳細〕 農業振興課 ☎ 381・1025



昨年の様子（江別河川防災ステーション）

今年度の初回

11/26(土)

会場 **EBRI** 10時～14時
(東野幌町 3-3)

12月以降の「農家のかあさん土曜市」日程

日程	時間	会場
12/17、H29/1/21、2/18、3/11 (土)	10時～14時	江別河川防災ステーション (大川通 6)
12/23 (金・祝)		くるるの杜 (北広島市大曲 377-1)
H29/1/28 (土)	9時～16時	イオンタウン江別 (野幌町 10-1)

セラミック アートセンター

グラタン皿づくり

オーブンで使える器

オープン

でも使える
グラタン皿
を作ります。

日時：11月

20日(日) 10時

～12時 ※9

時50分まで

に受け付け

会場：セラミックアートセン

ター 定員：先着15名

料金：1500円

申込方法：11月6日(日)から電

話か直接(9時～17時)

〔申込・詳細〕 セラミックア

トセンター ☎ 385・1004

冬の親子陶芸体験

丸皿をつくろう！

型づくりの技法で丸皿を親

子で作ります。赤土で自由に

模様もつけられます。作品は

当センターで乾燥、施釉、焼

成を行い冬休み中にお渡し。

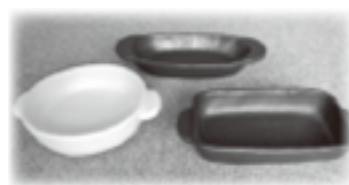
日時：12月3日(土)・4日(日) 10

時～12時 ※9時50分までに

受け付け

会場：セラミックアートセン

ター 対象：小学生親子



定員：両日先着30名
料金：両日とも700円(材料費含む)

申込方法：11月19日(土)から電
話か直接(9時～17時)

〔申込・詳細〕 セラミックア

トセンター ☎ 385・1004

江別市中学校・高校 美術部合同展2016

市内の中学

校・高校の美

術部員が制作

した、若々し

い感性豊かな

絵画などを展示。観覧無料。

日時：11月19日(土)～11月27日

(日) 9時30分～17時(最終入場

16時30分) 初日13時30分、

最終日15時まで

会場：セラミックアートセン

ター2階 企画展示室

主催：北翔大学教育文化学部

芸術学科

〔詳細〕 セラミックアートセン

ター ☎ 385・1004

市民会館

道警コンサート in 江別

with 桜庭和

北海道警察音楽隊や歌手
の桜庭和さんをお招きして、

音楽隊の迫力ある演奏やカ
ラーガード隊の華麗な演技
桜庭さんの心温まる歌声をお
届けします。江別警察署によ
る交通安全などのお話も。観
覧無料。

日時：11月13日(日) 14時～

会場：市民会館大ホール

〔詳細〕 市民生活課 ☎ 381・

1093

あおむし人形劇団 ちよっぴん早つけX'mas

あおむし人

形劇団が、人

形劇「はらぺ

こあおむし」

や「おむすび

ころりん」など4編を演じま

す。そのほか、はらぺこあお

むしを作る工作の時間や、子

育て支援ワーカーズきらきら

による乳幼児の遊び場もあり

ます。参加無料(要申込)。

日時：11月27日(日) 13時30分～

(開場13時)

場所：市民会館小ホール

定員：150名程度

申込方法：電話か直接、また

はファクス(氏名、住所、連

絡先、参加者全員の性別と年

齢を記入)

〔申込・詳細〕 市民会館 ☎ 383・

6446 FAX 381・1077



お正月の準備に役立ちます

各公民館の講習会



おせち料理講習会

日本料理の基本を学びながら、伝統的なおせち料理を作って試食します。

講師…基礎から学ぶ和食の楽しみ教室 笹谷京子さん

日時…12月16日(金)10時～13時

会場…大麻公民館

定員…先着24名

料金…2千円(材料費含む)

申込方法…12月2日(金)9時30

分から料金を添えて直接

申込・詳細 大麻公民館

☎ 387-3315

年賀状の宛名書き講習会

筆ペンを使って、はがきの宛名書きの基本を学びます。

講師…書道あさの葉会 菅原京子さん

日時…11月19日(土)10時30分～12時

会場…大麻公民館

定員…先着20名

料金…200円

申込方法…11月7日(月)9時30

分から料金を添えて直接

申込・詳細 大麻公民館

☎ 387-3315

木版画の年賀状作り講習会

干支や植物などをモチーフにした年賀状を作ります。



1日目/図案の選択と版木の作成、2日目/版木の作成と摺り作業

講師…大麻木版画同好会

日時…11月27日(月)、12月4日

(月)の2日間 13時～15時
会場…大麻公民館
定員…先着24名
料金…千円(材料費含む)
申込方法…11月13日(月)9時30分から料金を添えて直接
申込・詳細 大麻公民館
☎ 387-3315

伝統のしめ飾り作り講習会

玄関飾りと輪締め作り。

講師…一般財団法人北海道歴史文化財団職員

日時…12月8日(木)13時～16時



会場…野幌公民館
定員…先着20名

料金…1200円(材料費含む)
申込方法…11月17日(木)9時30分から料金を添えて直接
申込・詳細 野幌公民館
☎ 382-2414

各公民館 そば打ち体験講習会

中央公民館で開催するin江別と、大麻公民館で開催するin大麻では、5人前のそばを手打ちし、ざるそばにして試食します。

また、野幌公民館で開催するin野幌では、4人前のそばを手打ちし、持ち帰ります(試食なし)。

日時、会場などの詳細は下の表をご覧ください。

※申し込みは料金を添えて各会場へ直接。

※講師は、江別・大麻が江別手打ちそば愛好会、野幌が豊幌手打ちそば同好会。

地区	日時	会場・申込	定員(先着)	料金(材料費含)	申込受付
江別	12/11(日) 25(日) 10時～14時	中央公民館 ☎ 382-2376	各24名	1,700円	11/27(日) 9時30分～
大麻	12/18(日) 10時～14時	大麻公民館 ☎ 387-3315			12/4(日) 9時30分～
野幌	12/4(日) 18(日) 10時～13時	野幌公民館 ☎ 382-2414	各20名	1,200円	11/20(日) 9時30分～



DV相談窓口

北海道警察本部相談センター (プッシュ回線の電話、公衆電話、 携帯電話、PHSは# 9110)	☎ 241-9110
民間シェルター (女のスペース・おん)	☎ 219-7011
性暴力被害支援センター北海道 SACRACH (さくらこ) 運営/NPO 法人ゆいネット北海道	☎ 050-3786-0799
江別市健康福祉部子育て支援室 子育て支援課家庭相談担当	☎ 381-1236
石狩振興局保健環境部環境生活課	☎ 232-4760
北海道立女性相談援助センター (配偶者暴力相談支援センター)	☎ 666-9955
北海道環境生活部くらし安全局 道民生活課	☎ 221-6780
江別警察署	☎ 382-0110

セクハラ相談窓口

北海道労働局雇用環境・均等部 指導課	☎ 709-2311 (内線 3572)
-----------------------	-------------------------

DV・セクハラ相談窓口

法テラス札幌 (日本司法支援 センター札幌地方事務所)	☎ 050-3383-5555
女性の人権ホットライン (札幌法務局)	☎ 0570-070-810

11月14日(月)～11月20日(日)全国一斉
「女性の人権ホットライン」強化週間

職場におけるセクシャル・ハラスメント、夫やパートナーからの暴力など、女性の人権に関する悩みごとや心配ごとについて、法務局職員や人権擁護委員が、通常の相談時間(平日 8:30～17:15)を延長して対応し、解決に導きます。

相談は無料、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

相談時間

11月14日(月)～18日(金) 8時30分～19時
11月19日(土)、20日(日) 10時～17時
ゼロナナゼロのホットライン
専用相談電話 ☎ 0570-070-810

セクハラ・暴力・ストーカー ひとりで悩まず相談を

女性に対する 暴力をなくす運動期間 11月12日～25日

夫やパートナーからの暴力、性犯罪、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為などの女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

本来、暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではなく、特に女性に対する暴力については迅速に対応する必要があります。

このような状況を踏まえ、国では、11月25日の「女性に対する暴力撤廃国際日」にちなみ、12月～25日を「女性に対する暴力をなくす運動期間」と定めています(詳しくは内閣府のホームページ <http://www.gender.go.jp/>)。

悩みを抱えている方は、迷わず、左表の相談先にご相談ください。

【詳細】市民生活課 ☎ 381-1124、FAX 381-1070、
Email=danjo@city.ebetsu.lg.jp

11月9日は 119番の日

119番通報で伝えること

「火事」「救急」の区別、場所(携帯電話の場合は市町村名)、氏名、状況など。

以上が分かった段階で出勤します。通報時は指令員の問いかけに答えてください。

電話の受け答えが困難な方

ファクスとEメールでの通報を受け付けています。

ファクスの通報用紙は、消防本部のほか、ホームページでも入手可。Eメールによる通報は登録制です。消防本部

指令課 (Email=shire@city.ebetsu.lg.jp) へお問い合わせください。

災害場所や病院の問い合わせは、119番を使用せず、次の番号へ。

●災害情報：江別市消防本部災害案内 ☎ 384-1199

●病院について：救急医療情報案内センター ☎ 0120-

20-8699 (携帯電話の場合 ☎ 011-221-8699) または消防本部指令課 ☎ 382-

5453

剪定木・廃木材類の出し方

1本の直径が10cmまでのものは「燃やせないごみ」の収集日に「指定ごみ袋」に入れるか「ごみ処理券」を貼って出してください。

束状にして出す場合は束の直径を50cm以下、最大辺を1m以下にし、80円のごみ処理券を貼って出してください。

1本の直径が10cmを超える場合は市で処理できません。専門業者などに依頼してください。なお、1回に出せる量は束の場合は4束、指定ごみ袋の場合は120リットルまでです。

〔詳細〕廃棄物対策課指導係 ☎ 383-4217

緑化募金にご協力ください

江別市民憲章推進協議会では、今年度も「花のある街並みづくり運動」を実施し、自治会や学校など100団体

以上に花苗のあっせんなどを行いました。

花やみどりがある環境を創出し、豊かな自然環境を次代へ引き継ぐことを目的に、市内の事業者や団体などに緑化募金への協賛をお願いします。

募金方法…11月1日(火)～12月末までの間に原則振り込みにて募金。

〔申込・詳細〕環境課自然環境担当 ☎ 381-1046



3分で簡単に採取
プライバシーも安心

がんの原因になるHPV（ヒトパピローマウイルス）に感染しているかどうかを自宅で検査できる「自己採取HPV検査」の案内を対象者へ送付しています。
対象：①20歳の誕生日を迎えた方、②今年6月に子宮頸がんクーポンが送られ、9月末で未利用の方

子宮頸がんが20～30代女性に急増
子宮の入り口にできる「子宮頸がん」は、女性特有のがんの中で乳がんが続いて二番目に多い病気で、20代～30代の女性に急増しています。子宮頸がんは、早く見つけて治療すれば、治すことができます。また、他のがんとは違い、がんの手の前の段階で見つける

自己採取HPV検査のご利用を
検診機関などで受けると6千円程度かかりますが、今回は無料です。検診とは異なり、自分で採取して郵送するだけで感染の有無を調べられるので、受診に抵抗感のある方や、忙しい方にもおすすめです。
この検査は、北海道大学病院産婦人科と北海道対がん協会の協力を得て実施している道内で初の取り組みです。
〔詳細〕保健センター ☎ 385-5252

道内初子宮頸がん 無料でご自分で検査

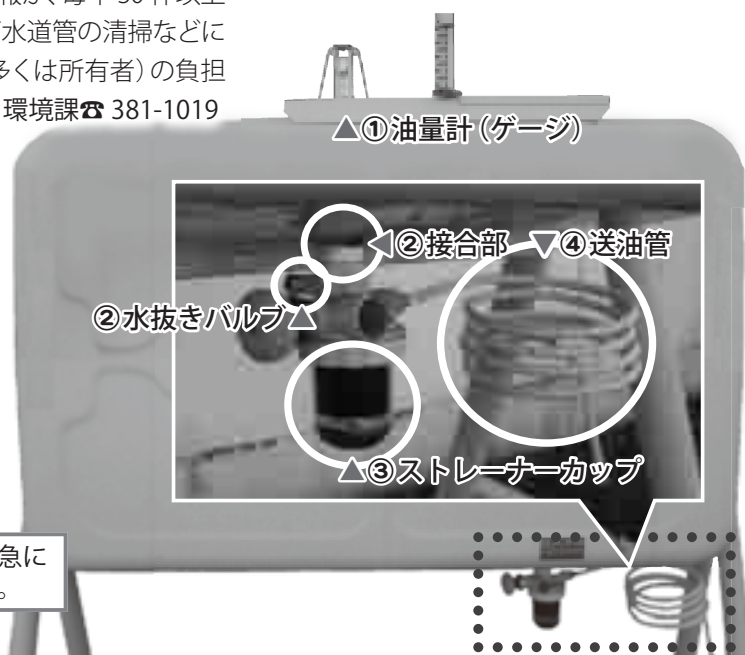
と、がんになることを防ぐこともできます。

灯油を使う前にホームタンクの点検を

劣化や老朽化などによるホームタンクからの灯油漏れ事故通報が、毎年30件以上環境課に寄せられます。灯油が漏れると、汚染土砂の処理や下水道管の清掃などに多額の費用がかかります。その費用は、すべて事故の原因者（多くは所有者）の負担になります。降雪前に点検し、未然防止に努めましょう。〔詳細〕環境課 ☎ 381-1019

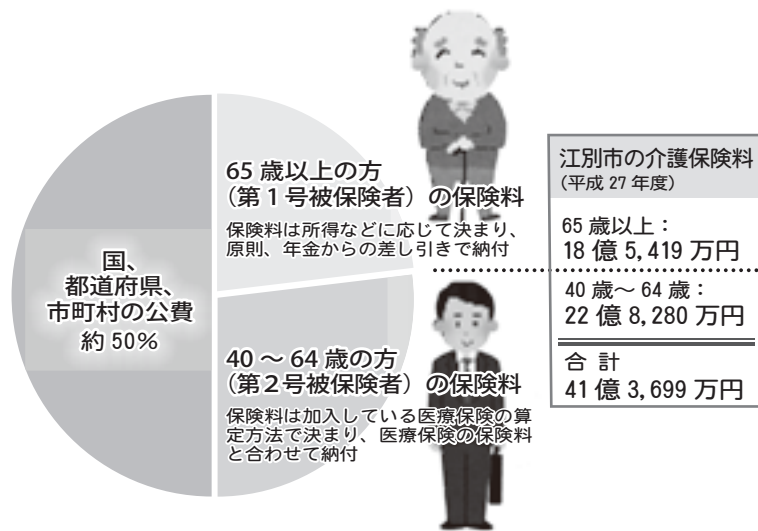
灯油タンクの点検項目

check	① 油量計のカバーが割れていないか、ゲージが滑らかに動くか。
check	② 接合部からの灯油漏れはないか。水抜きバルブの緩みはないか。
check	③ ストレーナーカップが、ひび割れたり緩んだりしていないか。
check	④ 送油管は折れ曲がったり、古くなったりしていないか。
check	⑤ 家の周辺で灯油の臭いがしないか。消費量が急に増えていないか。給油時にこぼれなかったか。



財源はみなさんの保険料で支えられています

介護保険の財源のうち、半分は国、道、市が負担し、残りの半分は 65 歳以上の方（第 1 号被保険者）と 40 歳～ 64 歳の方（第 2 号被保険者）が負担する保険料で構成されています。



介護保険料の 使い道を紹介します

介護保険制度は、40 歳以上の皆さんの保険料と公費により市町村などが運営し、介護が必要となったときにサービスを利用できるしくみです。

介護保険料の主な使い道は介護給付費ですが、そのほか、介護が必要な状態にならずに自立した生活を営めるよう支援する介護予防事業や、地域支援事業にも使われています。

【詳細】介護保険課 ☎ 381・1067

平成 27 年度の介護保険の主なサービス

サービス項目	サービス内容	平成 27 年度決算（円）	
		介護	介護予防
施設介護サービス費	特養、老健などの施設サービス費	28 億 4,160 万	
居宅介護サービス費	ホームヘルパー、デイサービスなどの居宅介護サービス費	26 億 354 万	5 億 2,952 万
地域密着型介護サービス費	グループホームなどの地域に密着したサービス費	11 億 4,882 万	1,019 万
特定入所者介護サービス費	施設入所などの低所得者の食費・居住費の減額分	3 億 6,049 万	95 万
居宅介護サービス計画費	ケアマネジャーへの報酬などの経費	3 億 993 万	7,267 万
住宅改修費	手すり設置などの住宅改修費	2,315 万	2,660 万
福祉用具購入費	ポータブルトイレなどの福祉用具の購入費	922 万	670 万
高額介護サービス費	自己負担額が上限額を超えた場合の助成費	1 億 7,896 万	
高額医療合算介護サービス費	医療と介護の両方を利用し、合算した自己負担額が一定額を超えた場合の助成費	2,833 万	

利用状況は居宅介護サービス費が全体の約 4 割

利用状況では、ホームヘルパーやデイサービスなどの居宅介護サービス費の占める割合が全体の約 4 割と高くなっており、次いで特別養護老人ホームなどの施設介護サービス費、グループホームなどの地域密着型介護サービス費が大きくなっています。

また、平成 27 年度の保険給付費は 81 億 5900 万円。平

成 26 年度の 79 億 9600 万円と比べて 1 億 6300 万円の増額となりました。これは、介護サービス利用者や利用量の増加、介護に従事する人の待遇改善などによるものです。

介護保険料が財源の 地域支援事業

▼地域包括支援センターの運営：高齢者を地域で支えるための施設で市内に 4 か所。ケアプラン作成や介護予防事業、総合相談支援など

▼元気の達人養成講座：健康寿命を延ばすヒントを紹介。転倒防止、認知症予防講座、体操など

▼介護予防出前講話：高齢者を含む団体を対象に、出前の講話を開催

▼高齢者向け徘徊位置検索サービス（自己負担あり）：「GPS 端末」を貸し出し、高齢者の位置を検索できるサービス

▼認知症高齢者家族やすらぎ支援（自己負担あり）：家族の不在時などに、支援員が高齢者の話し相手になりながら見守りを行うサービス

▼在宅高齢者への給食サービス（自己負担あり）：高齢者世帯などで、病気や障がいのため買い物や調理ができない方に夕食を配食



元気の達人養成講座